

こんにやくを作れない村

久 慈郡里美村大中の大神神社には、大己貴命(別名 大國主命)がまつられています。

むかし、この神様が村を通りかかった時、道に落ちていたこんにやく玉を踏みつけ、転んで怪我をしまいました。

神様は、たいそう腹を立て、「これからは、こんにやくを作ってはならん。」と村人に命じました。

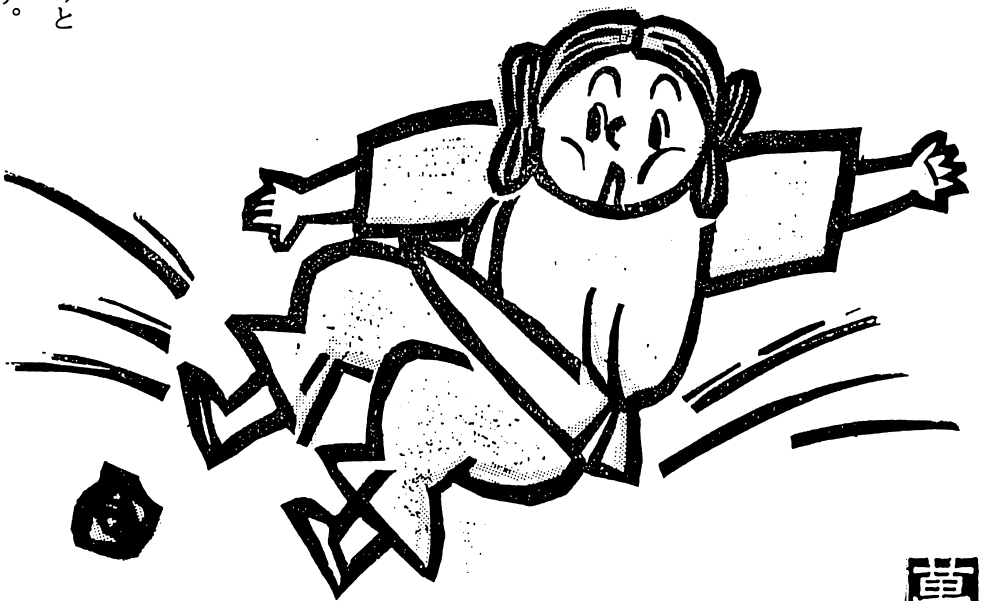
神様のいうことですから、守らないわけにはいかず、それ以来、この村ではこんにやくの栽培をしないのだそうです。

高萩市にも、よく似た話があります。

むかし、十殿神社の神様である大己貴命が、ささげ(大角豆)のつたに足をからめて転び、胡麻のさやで目を突いてしまいました。

それ以来、ここでも、ささげと胡麻は作れないのだそうです。

このように、農作物で傷ついた神様の話は、県内に限らず各地に残っています。



萬